

2面・3面 巡回公演だより/園からの声/「ゲネプロ」報告/「まほうのふででなにをかく?」イラスト紹介  
4面 制作だより/演育ワークショップ/あやめ保育園講習会報告/いい大人形劇フェスタ ほか

http://www.suginoko.org/  
E-mail: support@suginoko.org

# 転職の時代となり 誰が人を育ててるのか

理事長 大場 隆志

昔は終身雇用で企業が人を育ててきました。その結果、日本企業は世界より強い企業を創ってきました。

その後、長く続く日本の景気低迷時代を経て、終身雇用から発生するハラスメントや長時間労働を是正するために、また、働く人の個々に応じた多様で柔軟な働き方を選択できるように、政府は働き方改革を推進し、一億総活躍社会に向けた労働生産性の向上や従業員満足度の向上に取り組んでまいりました。

しかし、働く人の個々に応じた多様で柔軟な働き方を選択できる

ようにという配慮が、企業の一体感やロイヤリティを無くす方向へと進み、さらに大転職時代を迎える結果となりました。これは政府も望んでいたことではなく、結果として日本企業の弱体化に繋がったと言えるのではないかと思います。

左の表は、世界の時価総額ランキングを三十年前と比べたものになります。二〇二四年の現在、アメリカ企業の合計時価総額は世界全体の約半分となり、世界の富がアメリカに集中しています。しかし、このデータを見ると三十年前は日本が世界全体の半分近くを占

めていたということになります。終身雇用による社員の定着やメインバンク制、利益を共に分け合う家族経営などはすべて経営の安定化につながっていました。一般的に経営資源とはヒト・モノ・カネといわれますが、日本の経営の特徴は、それをすべて満足させるものでした。

年功序列制や終身雇用により、数十年単位のスパンで働くことが当たり前と考えられていることも、日本の経営の強みでした。日本企業の多くは、新卒採用した社員に対してOJTで研修・訓練を施し、定期的に実務に必要な知識やスキルを習得させていま

く働き続け、その間に社内研修・人事異動などを通してスキルアップできることは、雇用の安定および継続的な収入拡大の視点から従業員に安心感を与えました。また住宅費補助や慶弔制度、退職金制度といった福利厚生も年功が高くなるほど従業員に与えられる権利が拡大する制度設計となっていましたので、自分だけでなく家族にも安心感が生まれ、企業に対するロイヤリティは自然と高くなっていました。

海外では、能力評価や経営悪化による従業員の解雇を比較的容易に行っていますが、日本の場合、従業員を守る企業が多かったことも日本の経営の強さを後押しする要因となったと言えると思います。かつての日本企業が抱いていた「お金より人が大事」という考え方は決して理想主義ではなく、実際に適ったものであり、それこそがビジネスを繁栄に導く強みであったと言えると思います。しかし、日本企業はいつしか自らの強みを捨て、「ヒトよりカネ」に走り、アメリカ式の経営を表面的に模倣し、低生産性と低賃金の低空飛行に陥ってしまいました。なぜ、日本企業は自らの強みを手放してしまったのか。どうすれば「負のスパイラル」を抜け出せるのか。そして、再び同じ轍を踏まないために何をすべきか。

アマゾン創業者ジェフ・ベゾス氏は、二〇一〇年の株主総会において、「Kaizen」という言葉を使って、株主に対してプレゼンを行いました。アマゾンが取り組んできた努力はカイゼンという言葉で表現できること、今後はそれを地

球規模に適用して環境問題に焦点をあてたカイゼンを行いたいと述べました。実際に、アマゾン米国本社にはKaizenプログラムという制度が現在でも設けられています。ここでは、QC (Quality Control) 七つ道具やQCストーリーなど、カイゼンに利用できる手法が教育されています。そして実際に、従業員は継続的にサービス提供プロセスを合理化し、ムダを排除し、顧客満足と従業員満足度を向上させるよう求められています。

この「カイゼン」という言葉は、日本のトヨタ自動車「そこで働いている人をよりラクにしたい」という従業員を大切にするという原点から生まれたトヨタ生産方式と呼ばれるもので、業務効率化による生産性向上、品質向上、従業員のモチベーション向上を目的とした言葉です。

これからの日本の経営を考えるに、日本が世界トップレベルだったころの日本企業の強みを生かしつつ、これから求められる働く人の個々に応じた多様で柔軟な働き方を選択できる会社の実現、そして働く人の価値向上と社会貢献を可能とする会社を目指すことが、一億総活躍社会に向けた労働生産性の向上や従業員満足度の向上につながる、日本企業が目指す姿であると思います。

人を大切にして社員を育て、自分だけでなく家族にも安心感をもたらす、地域社会に貢献する組織を目指す。これからの日本企業にとっても、すぎのこ芸術文化振興会にとっても大切なことであると思います。

## 世界の時価総額ランキング

順位	1989		2023	
	企業名	時価総額 (億ドル)	企業名	時価総額 (億ドル)
1	NTT (日本)	1638	アップル (米国)	2兆6090
2	日本興業銀行 (日本)	715	マイクロソフト (米国)	2兆1460
3	住友銀行 (日本)	695	サウジ・アラビアン・オイル (サウジアラビア)	1兆8931
4	富士銀行 (日本)	670	アルファベット (米国)	1兆3302
5	第一勧業銀行 (日本)	660	アマゾン・ドット・コム (米国)	1兆584
6	IBM (米国)	646	エヌビディア (米国)	6860
7	三菱銀行 (日本)	592	パークシャー・ハサウェイ (米国)	6756
8	エクソン (米国)	549	テスラ (米国)	6564
9	東京電力 (日本)	544	メタ・プラットフォーム・フォームズ (米国)	5494
10	ロイヤル・ダッチ・シェル (英国)	543	ピザ (米国)	4753

※1989年は12月31日、2023年は3月31日時点。銀行名は合併前の旧行。

短期間では習得しにくいような専門スキルなども時間をかけて習得させられるため、長期的な視点で人材育成プランを考えることができま

# 巡回公演だより



## 金のおの銀のおの 班

うぐいす色のどん帳が静かにゆつくりと開き、そして静かにゆつくりと閉まる。その間、子どもたちがパンドラの箱を開けた夢の世界に入っていくような作品になれたらと思っています。パンドラの箱を開けたら災いがある、という言い伝えがありますが、それとは逆に希望に導かれる意味です。

今は北海道を巡回しています。先日、こんなことがありました。上演後に記念写真を撮ることにになり、みんなでセツトの前に並びました。子どもたちと人形と、バックの絵は森と湖です。どこか北海道でよく見る風景です。カメラを向けた先生が、「まあ、みんな本

用な私は戸惑っていますが、子どもたち一人一人の夢の幕が開くように願っています。

(榎本 均)

## たのきゅうのうわばみしたいじ 班

私たちのきゅう班は、5月から関東・北陸地方を中心に人形劇をお届けしています。

当に森の中にいるみたい。」と歓喜の声を上げました。舞台人形と子どもたちが一緒になれた、いいアングルの絵だったのでしょう。

もしかしたら、どん帳の開け閉めは、普段先生が子どもたちを絵本の読み聞かせの世界にいざなうことに、少し似ているかもしれません。私たち大人より、子どもには現実と非現実がクロスする瞬間があるのかもしれませんが。

どん帳の仕掛けの設営に、不器

「人形劇を観る」という一つの出来事から、みんなの心に生まれるたくさんの「どきどき」や「わくわく」。緊張しながらホールに足を踏み入れる子どもたちにとって、人形劇は大冒険のような時間になることでしょうか。そんな子どもたちの勇気に感謝しながら、今日も私たちは人形劇を届けていきます。

(吉田 薫)



## たのきゅうのうわばみしたいじ

■下山こども園(新潟県新潟市)

いつもは3人で来られてましたが、今回は2人だったので、どのようになるのかと思っていましたが、声量もすばらしく、話の内容も面白く、子ども達もとても喜んでいました。うわばみも、怖がらず楽しんでいました。

■高田保育園(山梨県西八代郡市川三郷町)

「たのきゅうのうわばみしたいじ」は、子どもたちが泣いてしまうかと心配しましたが、楽しい場面もたくさんあり、笑顔もたくさん見られました。2歳児さんも、へびや怖いおじいさんがよくわかり怖がっていたので、内容が伝わっているんだと思いました。

## 金のおの銀のおの

■釧路あさひ認定こども園(北海道釧路市)

前回はお部屋の暗さなどから泣いてしまう子が多かったのですが、今回は、明るかった事もあり、みんなで楽しんで良かったなと思いました。金のおの銀のおのが始まってからすぐに、子ども達も「もう、終わっちゃう、もう、終わっちゃうね」と言っていたのが、

## 北海道標津郡中標津町中標津町立 計根別幼稚園



新緑の候、貴社ますますご繁栄の事とお喜び申し上げます。平素は格段のご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度は計根別幼稚園に来てくださり、ありがとうございました。こんなに近くで人形劇を見ることはあまりないので、みなさんが来られるのをとても楽しみにしていました。

人形が自然に動いていて、生きているようでとても不思議な気持ちになりました。本で読む世界と違い、劇で見ることで子どもたちはとてもわくわくしていました。感謝の気持ちとして園児代表で年長組からのお礼のプレゼントを作成しました。この度は、貴重な経験ありがとうございました。

すごく印象的で、プロのみなさんの力だなと感じました。

■釧路市立桜ヶ岡保育園(北海道釧路市)

2歳クラスから参加しましたが、みんな最後まで集中して観ており、とても、たのしそうでした。大人も、たのしく見せていただきました。ありがとうございました。ありがとうございます。

## マーリヤンもほのぼの

■平和のぼろ保育園(長崎県五島市)

園児は、50分程の人形劇を集中

して見入っていました。ひきこまれたように……。

子ども達同士で、人形劇の話題になっていました。3人の団員の方の声が聞きやすく、マーリヤン役の方は、中国人?と思うくらい楽しめました。

■教宗寺保育園(長崎県長崎市)

今回の演出に、子ども達も職員も大絶賛でした。大きなかぶも、楽しかったです。



「マーリヤンとまほうのふで」は、日本の皆さんには聞きなじみのないお話かもしれませんが、このお話は私の母国、中国の昔話です。中国では「神筆馬良（シエンピーマーリヤン）」と言うタイトルで、絵本はもちろん、アニメや人形劇で映画になっていて、中国人なら誰もが知っているお話です。

絵を描くのが好きな少年マーリヤン。仙人から「描いたものが本物になる」魔法の筆をもらい、村

## マーリヤンとまほうのふで 班



人たちのために絵を描いていきます。

私はマーリヤン役を演じています。心優しく、人のために役立とうとするまっすぐなマーリヤンを、のびのびと演じていこうと、日々精進しています。



この人形劇には、中国の文化や風習を反映させています。中国は、友人や隣近所の人たちとの結びつきが強く、おすそ分けをしたり、子どもの面倒を見あったり、家族のようにお互い助け合います。日本と同じですね。そんなエピソードも入っています。

またこの劇中には、ロバが出てきます。日本の子ども達は、動物園に行かないとなかなかロバを見る機会がないと思いますが、中国では地方に行くときまだ道路をロバが荷物を乗せて歩いています。私

日本の子どもたちも劇中にロバの人形が出てくると「かわいい！」と喜んでくれて、ロバの人形はとても人気があります。子どもたちが動物を好きなのは万国共通ですね。

それから、この作品で注目していただきたいことの一つに、歌があります。劇中歌は全て、中国で長年愛されている童謡や民謡で、日本語の歌詞と中国語の歌詞で歌っています。中国の子ども達はこんな歌を歌っているのだと、中国に親しみを感じてもらえたら嬉しいです。

今年度の巡回公演3作品「たのきゅうのうわばみたいいじ」、「金のおの・銀のおの」、「マーリヤンとまほうのふで」による本番稽古・ゲネプロ（ゲネラルプロベ）を、4月27日埼玉県狭山市にあるすぎのこ狭山研修センターに於いて実施しました。

## 「タネプロ」報告

すぎのこのスタッフ、俳優達が愛情をこめて制作したこの作品を、これから日本中のお友達にお届けできると思うと、毎日ワクワクしています。日本のお友達、待っていてください！

(霍 猛)

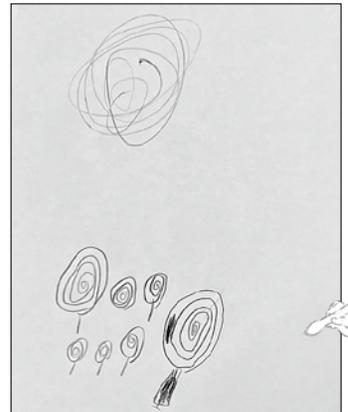
## 60周年記念企画

### 「まほうのふででなにをかく？」イラスト紹介

前号でお知らせしました、すぎのこ60周年記念企画「まほうのふででなにをかく？」。素敵な作品をたくさんご応募いただきました。ご応募くださった皆様ありがとうございました。いただいた作品は、すぎのこ公式SNSでも順次紹介しておりますので、ぜひご覧ください。



東京都西東京市 小学五年生



埼玉県狭山市 6歳、3歳



埼玉県狭山市 4歳



埼玉県狭山市 小学三年生



作品制作関係者をはじめ、地域のご家族連れ、過去の劇団在籍者など、大勢の方がいらしてくださいました。

作品の中で、毎年のことながら新作の反応が一番気になるのですが、アンケートを見ると、背景に映像を取り入れたことに対して「こういう見せ方もあるんだなと感動しました」などのご意見をいただきました。他にも、舞台の色使い・人形操作などについても貴重なご意見をいただきました。子どもの成長のように、どの作品も、子



もたちの反応・先生方のご意見を栄養に、大きく大きく育つように努力してまいります。ご乗場の皆様、ありがとうございました。

(下村 明)



# 制作 まほう

いよいよ暑い夏がやってきました。今年度の巡回公演も、「金のおの銀のおの」班は北海道、「たのきゅうのうわばみたいじ」班は北信越地方からスタートして、まもなく1学期が終了します。この

## 講習会報告 演育ワークショップ

埼玉県飯能市にある、さゆり幼稚園において、4月24日・25日、今年度の「演育ワークショップ」がスタートしました。今年で3年連続の開催です。内容は、自由な発想でごっこ遊び（身体表現）をする「生き物の表現」。子ども達は、

「生きた動物の表現」。子ども達は、怪獣・ダンゴムシなどになって楽しんで表現してくれました。見学された理事長先生・園長先生からも、お褒めのお言葉をいただきました。2回目の演育ワークショップは、5月15日・28日に実施しました。今回の内容は「だれがなにをした」。自由に表現することを楽しみ、慣れることをねらいとしたワークショップです。「だれが」の箱の中から紙を一枚取り、「なにをした」の箱の中からも紙を一枚取り、即興表現力・創造力で演じるものです。「おすもうさんが」空を飛んだ」が出てきた時など、子どもたちは、「え〜」と言いながらも楽しみながら演じていました。これから演育ワークショップをしていく中で、子どもたち一人一

春新たに制作した「マリーヤンとまほうのふで」班もおかげさまで好評で、九州地方を巡回しております。「まほうのふで」ではないのですが、私には、「魔法の電話」が掛かっていることがあります。今日も朝いちばんに、九州の園から上演のお申し込みがありました。お話ししているなかで、最後に先生から「お互いに今日一日頑張りましょう！」と言われ気分爽快です。

人が何かを感じとってくれたら：「演育」とは

- ①知識の教育・感性と心を育む教育・健やかな体を育てる教育を統合し、演劇的な方法の活用によるメソッドを演育と表現する。
- ②見る、聞く、感じる、考える、話す、伝えるという人としての基礎能力（状況や人を理解し、どうするかを考え、自分を伝える能力）を育むメソッドである。
- ③多様な価値観がぶつかり合う時代、人と異なる視点を持つことの大切さと、相手を理解することの大切さを育む。



今年の8月1日、すぎのこは60歳の誕生日を迎えることになりました。世の中が急速に変化していく中でも、惑わされることなく、劇団創立者、小澤明の意思を継承し、これからも「魔法の電話」が沢山鳴り響くように、子どもたちの心に響く人形劇を制作していきます。「魔法の電話」は、04-2968-4721です！

## あやめ保育園 講習会報告

新潟県阿賀野市あやめ保育園さんで人形操演講習会を実施しました。

あやめ保育園さんでは日常の保育にパペットを使っていて、子どもたちとご挨拶したり一緒に手遊びをしたりしているそうです。そこで、少しでもパペットたちが生き生きと見えるようにと、講習会を開催しました。

まずはなんとも個性的なパペットたちに感動しました！それぞれ



子どもたちと名前を考え、性格をイメージしているそうで、各クラスでパペットの特徴が異なります。そこで、一体一体のパペットを触らせていただきながら、より特徴を活かせる操演のポイントをお伝えしました。手足の長い子は全体が揺れやすいので頭を固定する、目の位置が高い子は目線を合わせるために下向きに、などなど。静止・目線・誇張表現などポイントをふまえ、アドリブでお芝居にも挑戦していただきました。めきめきと上達する先生方！その情熱と優しさに、私たちもとても楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございます！

## いいだ人形劇フェスタ

今年もいいだ人形劇フェスタに参加します！

8月1日(木)から8月4日(日)まで、長野県飯田市にていいだ人形劇フェスタが開催されます。今年度すぎのこは、「たのきゅうのうわばみたいじ」と「マリーヤンとまほうのふで」の2作品を上演します。

「たのきゅうのうわばみたいじ」：8月3日(土) 竜丘公民館本館  
「マリーヤンとまほうのふで」：8月4日(日)飯田文化会館1階展示室

年に一度の人形劇の祭典、たくさんの方に楽しい時間をお届けできようがんばります。是非お越しください！

詳しくは「いいだ人形劇フェスタ」ホームページをご覧ください。  
<https://www.iida-puppet.com/>



当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会（現公益財団法人JKA）の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ婦孺研修センター」があります。

この施設は緑豊かな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地し、音楽や芸術等の芸術文化活動や公益活動にお貸ししています。合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。（利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません）

近くには、海拔1240m、周囲2kmに及ぶバラキ湖をはじめ、近隣に日帰り温泉「湖畔の湯」やバラキ高原婦孺スキー場等が点在し、年間を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご利用いただけます。敷地内にはバーベキューが楽しめる集会所が整備され、日本

## 活動記録(令和6年4月〜6月)

- 4/24 演育ワークショップ実施 於：さゆり幼稚園(埼玉県飯能市)
- 5/7 第一期全国巡回公演開始
- 5/15 演育ワークショップ実施 於：さゆり幼稚園(埼玉県飯能市)
- 5/20 第26回定例理事会開催 於：当公益財団事務所
- 6/1 池袋いけいけ人形劇まつり参加 於：雑司が谷公園丘の上テラス(東京都豊島区)
- 6/7 第13回定例評議員会開催 於：当公益財団事務所
- 6/12 演育ワークショップ実施 於：さゆり幼稚園(埼玉県飯能市)
- 6/30 令和5年度事業報告及び収支決算報告を内閣府に提出



婦孺研修センター

キャンパス協会の優良キャンプ場として認定されています。婦孺研修センターに関するお問い合わせ  
E-mail: support@suginoko.org  
または03-3984-2396 (事務局)

「すぎのこ」第174号(2024年4月1日発行) 2ページの記事に誤りがありました。  
誤) 栄谷保育所(千葉県匝瑳市)  
正) 栄谷保育所(和歌山県和歌山市)  
読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。